



大阪城

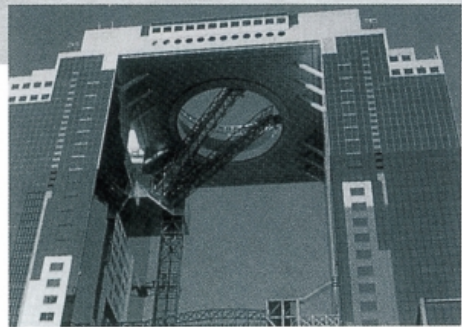
緑友会コミュニケーション誌
1995年2月発行 No.

86

第37回 全国印刷緑友会大阪大会



第37回 全国印刷緑友会大阪大会



梅田スカイビル

FRIENDS OF GREEN

フレンズ オブ グリーン

 全国印刷緑友会

第37回全国印刷緑友会 大阪大会開催

と き：1994年10月15日(土)・16日(日)
ところ：大阪・三井アーバンホテル
ベイタワー

本音で語り
話し合える場
に



10月15日(土)、第37回全国印刷緑友会大阪大会が大阪では24年ぶりに「三井アーバンホテルベイタワーホール」にて開催され、全国各地より41グループ387名の緑友の仲間が集まった。



午後1時30分、「吉本でおなじみの大阪へようこそ」という歓迎のことばで始まり、大阪青年印刷人クラブの松口正君の開会宣言に続き、君が代斉唱・綱領唱和・物故会員にたいしての1分間の黙禱・来賓紹介と滞りなく進行された。そして各グループの紹介の後、大阪大会実行委員長・安福一郎君が「この大阪の地で本音で緑友のメンバーが話しあえる場をつくることにここがけました。」と挨拶、続いて緑友会会長・利根川政明君が「景気の回復が遅く、この局面を乗り越えるため、自分の会社の活性化・緑友の活性化をおし進めるため、まもなく40周年をむかえる緑友会グループの発展のため、本音で語り合い、大きな交流をつくろう」と挨拶をした。

来賓祝辞では大阪府印刷工業組合副理事長・井戸幹雄様より歓迎のお言葉と「ここにきて印刷業界も前年度と比べマイナス成長であり、きびしい状況が続いています。『第四次構造改善』を進め、コンピュータ革新など環境の変化に率



先して、柔軟に対応しなくてはならない。」とのご挨拶をいただいた。続いて全国青年印刷人協議会議長・日比野信也様より「8月に全青協の全国大会を開催し、会員の方の3分の2が緑友会に属している方である。」と賛同のことばをいただきました。続いて日本青年会議所印刷部会部会長・萩原誠様より「印刷の将来に対して不透明な時期ではありますが、緑友が最大の印刷組織であるという利点を生かして変革の時代を乗り切りましょう。」とのご挨拶をいただいた。

祝電披露のあと、大阪青年印刷人クラブの井下精二君の閉会宣言により大会式典を終了した。



午後2時30分より記念講演が始まった。現在、関西を中心にニュースアンカーマンとして活躍をされている諸口あきら氏が、「ラジオ屋稼業人から見た現代社会」と題して、ギャグの

混じったテンポの早い会話とど肝をぬくような鋭い発言により会員の方々を魅了しました。

ホテルニュージャパン火災において所属事務所の社長が、10Fより死のジャンプをして亡くなられたことにより、諸口氏の心の葛藤の変化があり、芸能界を引退。人間の命の尊さを知り、肌で激動する世界へ飛び込み、体当たり取材を敢行できたのも、つらく長い悲しみの体験があったからこそできた。生まれ変わった気持ちで何ごととも行動してきた。旅は人間を天才にする。激動するマニラへ一人で敢行取材をできたのも

一人で行くと何ごとともやらなければならない、そんな行動をおこさせたのも諸口氏の長年の蓄積された経験から生まれたものである。

日本は平和である。ユニバーシアード神戸大会に来たレバノンのマイサラ・ドクという女性選手のことを気がかりであり、戦争状態にある国が世界各地にあるということを目撃者が感じていただきたい。

今後、世界では、中国が12億人もの人口になり、どこの国がその食糧を供給するのか、アメリカではあと30年で地下水が足りなくなり、アメリカの農業の前途が危ぶまれているなど難問がたくさんあります。ジョン・F・ケネディが日本で一番尊敬する人といわれた米沢藩主上杉鷹山のようにみごとな改革をとげた人もいます。儉約と質素なほど切りつめて改革を行なった。そのため、ききんで餓死者を一人も出していない。現在にはこのような人物が必要ではないでしょうか。

“おれは自分の国を愛している。だったら少しでも愛していると言ってくれ！”というランボーのことばを残して講演は午後4時10分に終了した。

午後4時30分より記念撮影を行い、午後6時より懇親会が行われた。

緑友会第19代会長白井秀幸氏の乾杯の音頭で祝宴となり、大阪のセントスのメンバーによる演奏などを交え、活発な情報、意見交換がされた。そして今回新加入となった徳島一代会、郡山凸凹クラブ、秋田県印刷経営青年部会のメンバー紹介と2月18日(土)に開催される第28回全国印刷緑友会セミナーを主管する名古屋而立会と次期総会開催地長崎と大会開催地熊本が紹介された。

第37回全国印刷緑友会 大阪大会を終えて

大阪青年印刷人クラブ
全国緑友会大阪大会
実行委員長 安福一郎

全国印刷緑友会の皆様、O・Bの皆様、大阪大会にお越しいただきありがとうございました。

あの素晴しかった青森大会の後だけに、大変なプレッシャーの中、当日の朝を迎えました。AM 11:00頃、利根川緑友会会長はじめ常任幹事の方々、当クラブの矢谷会長、司会でがんばってくれた北口君らと式典等の予行演習を始めた頃には、「やるしかない！」と開きなおりに近い感じで開会を待ちました。そして、式典、諸口あきらさんの講演、懇親会、最後に恒例の「お手々つないで」での中締めまで、皆様のご協力のお蔭で、無事終えることができました。



いよいよ楽し〜い2次会の時間です。そこで当クラブの山口相談役にお会いしました。

「生意気なこと言うけど、どうなるかごつつう心配やったけど、盛会でよかったなあ〜。みんな、ようやってくれた。」

この一言を聞いた、「あ〜よかった。」とほっとし、「大会は、夫婦で参加を呼びかけてるのに、同伴が少なかったは、登録料なんかもうちょっと考えたらよかったのに……」とおっしゃられ、



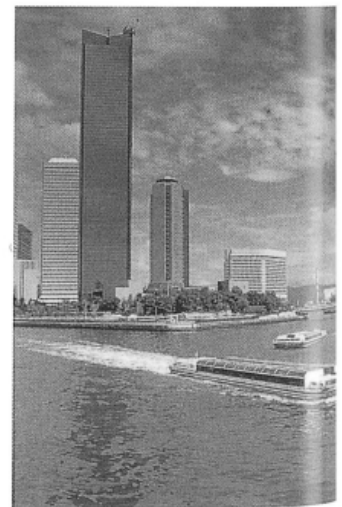
その辺の配慮はたしかになかったと、ほろよい気分ながら反省いたしました。

このように不手際な点、失礼な点等多々あったことかと思えます。

しかし、大阪青年印刷人クラブ会員一同、精一杯の準備をさせていただき、ある程度の満足感があるのも事実です。

いたらなかったところは、緑友の友情に免じてお許しいただきたくお願い申しあげ、感謝の言葉とさせていただきます。

本当にありがとうございました。



大阪大会に参加して

緑友会に新しく入会された、秋田県印刷経営青年部会と徳島一二期のお二人にお聞きしました。

緑友の情熱とパワー

秋田県印刷経営青年部会
大門一平

全国印刷緑友会への参加が当会の議題に登ったのは、今年の春先のことでした。現在11名のメンバーが参加を希望しており、現在青年部会会員以外の参加を募り、正式な会の発足に向けて準備をしている最中です。これまでに、何度も利根川会長よりお電話をいただき「いつ秋田へ行ったらよいか？」と聞かれるたびに、我々の対応の遅さを気にしながら電話越しに冷汗を流しておりました。その時思ったことは、会長のこの情熱とパワーの源はいったいなんだろうということでした。

直前になり一緒に来るはずの会長が欠席となり、たったひとり心細く大会へ参加いたしました。会場でお会いする幹事や会員の皆様を拝見し、語り合う内に、会長の情熱とパワーは「緑友の情熱とパワー」であることがわかりました。

かって、私の父も参加をして感じた緑友の心を、時を経て息子も感じています。今後とも積極的に参加しますので、よろしくお願いいたします。



社会に対し**正**面から 取り組める場に

徳島一代会
小浜 信夫

昨年6月に14名で、徳島一代会は発足しました。“いちに いちに”と一歩ずつ確実に前に進もうということでこの名前が付けられました。

今回大阪大会は、私たちの最初の全国大会ということで少々緊張気味でした。というのも、会場は、全国各地から集まった、たくさんの会員のみなさんで圧倒させられる雰囲気だったからでした。しかし、名前を呼ばれ紹介される間に、緊張もとれてきました。

そして懇親会では、一転、オールディーズをバックにお酒を飲んでいる時、改めて“皆さんの仲間入りが出来たんだな”と感じました。これからも、いろいろな場所でふれ合い、お酒を酌み交わしたいと思います。

最後になりましたが、“諸口あきら”さんの記念講演は、これから社会を左右する問題について参加することが、大切だということを投げかけられました。この会が、正面から取り組んでいける場になれば良いと思います。“自分の国を愛すること”忘れかけていたことです。



INTERVIEW

インタビュー



懇親会の中、今回の大阪大会について
インタビューしてみました。

●大阪大会へはどのような期待を持って参加
しましたか ——

—— 全国の人と会い、語り合うことで、友情
の輪が広がることを楽しみにして来ました。

●もしあなたが、緑友会への入会を進めるとし
たらどのようにPRしますか ——

—— 緑友会の三つのイベントに、オブザーバー
として参加していただき、エネルギッシュ
な会であることをアピールしたいですね。

徳島一代会・乾君



●大阪大会のご感想は ——

—— 全国大会には、過去5回ほど参加さ
せていただけていますが、和気あいあ
いに行なわれたと感じました。

出来れば、セミナーとは違う意味で、
講演会も良いとは思いますが、大会と
いうことでお祭り色を全面に出しては
どうでしょうか。

●今夜の二次会は ——

—— グループの皆で、ミナミで騒いでき
ます。

佐賀県印刷人若楠会・真崎君



●大阪大会のご感想は ——

—— 大阪は初めてなので、とても楽しみに来
ました。皆さんには、親切にいただき
感謝しています。

パーティの食事も美味しくいただいでい
ますが、二次会も楽しみにしています。

茨城印刷緑友会・小島君



第36回 東北青年印刷人連絡協議会(東青連)

「福島大会」

開催日／1994年9月3日(土)

会場／ビューホテル(福島)

主催／福島印刷彩友会

福島大会は晴天に恵まれた平成6年9月3日12時より福島市駅前のビューホテルに於いて開催されました。東北6県の青年印刷人11グループ、全国印刷緑友会より5グループ、総勢約80名の参加を得て盛大に開催されました。



記念講演会では、『心の財産』と題して(財)ふくしま自治研修センター所長の大槻英郎氏の約1時間半の有意義な話を拝聴し、参加者全員が心の財産を更に大きくした様子でした。

休憩をはさみ、夜は6時よりお楽しみの懇親会に移り、前田善三郎副理事長の乾杯の挨拶で宴会に入り、全員なごやかな中で“東北は一つ”と実感し、山形で再開することを誓い閉会しました。

大会は、開会の挨拶につづき、鴨志田会長の歓迎の挨拶、そして来賓の福島県印刷工業組合阿部隆一理事長から、福島県の業界の現況報告等、又青年印刷人に対する期待を含めた挨拶がありました。つづいて、全国印刷緑友会の利根川政明会長(東京文京緑友会)の力強いお祝いの言葉がありました。

引き続き議題にはいり、次期開催県を山形県と決定し、またこの一年間の各県の情勢と各グループの活動状況の発表があり、議事の審議を終了しました。

最後に次期開催を主管する山形印刷研修会の若月孝君の挨拶で総会を終了しました。



こんにちは グループ紹介

「行動力をモットーに!!」

秋田県印刷経営青年部会

大門一平

3年前に秋田県印刷工業組合の青年部組織としてスタートした当会は、現在塚田均会長のもと全県各地より30名の会員で活動を致しております。

当会は青年の行動力をモットーに、先進技術の研究、次世代を担う経営者としての研鑽、会員の交流などを目的に、研修会の開催、展示会見学、先進会社（工場）見学等を実施しております。

全国印刷緑友会への参加にあたりましては、

11名の会員の賛同を得ることができ、現在会員以外の参加者を募集し、緑友会の友情と行動力を一人でも多くの人に知ってもらいたいと考えております。

また、陸の孤島に例えられる秋田県に住み、雪国あきたの人間はショシガリ（秋田弁ではずかしがりや）が多いですが、全国各地より参集する緑友会のメンバーの情熱とパワーを参考にして、今後とも積極的な参加をしてゆきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

新 入会グループ会員名簿

AKITA ●秋田県印刷経営青年部会



氏名	役職	会社名	住所	TEL	FAX
根本良一	専務取締役	(株)根本印刷所	大館市御成町6-70	0186-43-0814	0186-43-0814
相澤隆之	取締役	(株)能代印刷所	能代市卸町6-1	0185-52-3233	0185-52-4223
大門一平	専務取締役	秋田印刷製本(株)	秋田市南通みその町4-57	0188-33-7557	0188-33-7599
塚田均	専務取締役	(株)塚田美術印刷	秋田市大町一丁目6-6	0188-23-5551	0188-23-5553
宮崎良	代表取締役社長	宮崎印刷(株)	秋田市土崎港西三丁目8-23	0188-45-2255	0188-46-8933
三戸俊彦	常務取締役	(株)三戸印刷所	秋田市旭北錦町3-50	0188-23-5351	0188-62-7383
五嶋建二	専務取締役	光陽印刷(株)	秋田市大町二丁目4-21	0188-64-3784	0188-62-2084
加藤元康	常務取締役	(株)アキタ プリントセンター	秋田市山王三丁目1-7	0188-63-0555	0188-63-6530
三森知直	代表取締役	(株)三森印刷	大曲市須和町2-3-40	0187-62-0433	0187-62-0426
佐藤力	専務取締役	(株)仙北印刷所	大曲市栄町10-23	0187-63-2121	0187-63-7515
藤沢進	専務取締役	(有)平鹿印刷	横手市平城町10-34	0182-32-0564	0182-32-0565

TOKUSHIMA ●徳島一代会



氏名	役職	会社名	住所	TEL	FAX
乾 孝 康	社 長	(株)教育出版 センター	徳島市川内町平石流通団地27	0886-65-6060	0886-65-6080
広 野 省 吾	社 長	(有)平和印刷	小松島市小松島町字房浜56	08853-2-3550	08853-3-3205
吉 田 卓 史	社 長	(有)吉田印刷	徳島市南佐古三番町7-24	0886-52-2262	0886-23-7762
玉 村 博 文	社 長	(株)新玉印刷	徳島市昭和町8丁目70番の2	0886-23-7789	0886-23-4660
井 上 勝 弘	社 長	井 上 印 刷	徳島市佐古4番地8	0886-53-6463	0886-54-8544
岸 孝 人	専 務	(有)岸印刷	那賀郡羽ノ浦町宮倉原の内	0884-44-2127	0884-44-2127
山 中 勝 彦	管理 部 次 長	(株)グランド印刷	徳島市万代町6丁目	0886-22-8448	0886-22-8418
江 川 雅 文	社 長	(有)三和印刷	徳島市明神町1丁目17番地	0886-25-8888	0886-23-1388
多 田 恭 行	営 業 部 長	多 田 印 刷 (株)	麻植郡鳴島町矢島657-10	0883-24-2595	0883-24-8252
小 浜 信 夫	専 務	南 海 紙 業 社	美馬郡半田町	0883-64-2005	0883-64-2888
遠 藤 義 人	常 務	星 印 刷 (株)	徳島市中央通2丁目	0886-52-7508	0886-23-9698
森 敏 明	社 長	四 国 森 商 会	板野郡北島町高房字百庵前11-6	0886-98-5881	0886-98-0327
大 谷 章 介	社 長	(株)丸 一	徳島市川内町平石流通団地24	0886-65-5544	0886-65-5311

KORIYAMA ●郡山凸凹倶楽部



氏名	役職	会社名	住所	TEL	FAX
有 賀 隆 宏		共 栄 印 刷 (株)	郡山市田村町上行合西川原81	0249-43-3650	0249-43-4840
石 井 進	専 務 取 締 役	石 井 電 算 印 刷 (株)	郡山市田村町上行合南川田37-2	0249-42-5200	0249-42-5211
石 橋 理	常 務 取 締 役	石 橋 印 刷 (株)	郡山市富田町中の目47	0249-51-4800	0249-51-4866
大 戸 裕 剛		(有)大戸印刷所	郡山市虎丸町22-20	0249-32-5671	0249-32-5698
坂 本 敬 亮	専 務 取 締 役	(株)坂本印刷所	郡山市喜久田町菖蒲池14-26	0249-59-1234	0249-59-2345
鈴 木 淳 一	常 務 取 締 役	(株)ヨシダ コーポレーション	郡山市田村町上行合北川田22-11	0249-42-0005	0249-42-2233
舟 橋 一 明	副 社 長	ア ー ト 段 紙 器 (株)	郡山市田村町金屋字新屋27	0249-44-1228	0249-44-8964
真 壁 健		(株)東洋特殊印刷	郡山市田村町上行合西川原81	0249-44-3168	0249-43-5317

阪神大震災により被災された 会員並びに会社従業員の皆様に、 謹んでお見舞い申し上げます。

トピック 発展途上国への支援を…

大鹿道徳会長とする会員55人は、使用済みのプリペイドカード10,913枚をジョイセフ(家族計画国際協力財団)へ送りました。

研修・親睦を柱にした同会は、社会へ目を向け、情報を発信しようと、昨年4月に渉外委員会を発足。使用済みのプリペイドカードがアジア、アフリカなどの開発途上国の人々の健康、家族計画に役立つことを知り、回収運動を始めました。

会員の会社の受付に回収箱を置き、従業員や

お客様、出入り業者に協力を呼び掛けた。年間5,000枚の目標を立てたが、倍以上集まり会員たちの意識も変わってきました。

今後も回収運動を続けて行かれるようです。

岐阜・ぎふ印刷翠陽クラブ



予 告

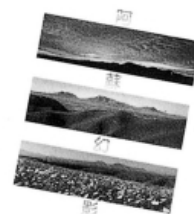
第38回全国印刷緑友会 長崎総会

開催日/1995年5月13日(土)
会 場/ホテルグリーンコースト長崎
登録費/23,000円(宿泊費込)
主 管/長崎青年印刷人会



第38回全国印刷緑友会 熊本大会

開催日/1995年8月4日(土)・5日(日)
会 場/阿蘇プリンスホテル
登録費/28,000円(予定・宿泊費込)
同伴者: 20,000円(予定・宿泊費込)
主 管/熊本県印刷緑友会





全国印刷緑友会

FRIENDS OF GREEN

FRIENDS OF GREEN No.86

〒113 東京都文京区湯島2-4-4

TEL.03(3811)1111(代)

発行人 利根川 政明(文京緑友会)

編集人 ぎふ印刷翠陽クラブ
